

The Influence of Yin Keng's Hsiang Yüeh: a 16th-century Planning Text and the Fortified Towns and Villages in the Ming Empire

党, 晟

<https://hdl.handle.net/2324/4110425>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (人間環境学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	党 晟
論文名	The Influence of Yin Keng's Hsiang Yüeh: a 16th-century Planning Text and the Fortified Towns and Villages in the Ming Empire (尹耕氏「郷約」の影響：16世紀の計画テキストと明代の城壁集落)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 趙 世晨 副査 九州大学 准教授 Divigalpitiya Prasanna 副査 九州大学 准教授 黒瀬武史 副査 九州大学 准教授 末廣香織

論文審査の結果の要旨

1550年、「郷約」は中国で初めての堡砦の計画・設計に関するガイドラインとして発表され、中国北部のみならず、19世紀の朝鮮半島における防御集落建設の参考にされたといわれているが、これまでの多くの関連研究では、「郷約」の引用と紹介が見られるものの、堡砦建設及び空間構成にどのような具体的な影響を与えたかは不明である。このような背景を踏まえ、本論文は「郷約」が発表された時代的背景とその内容及び普及状況を整理し、中国北部地区の堡砦建設における「郷約」の位置付けを行なった上で、「郷約」の条項に照らし合わせながら、堡砦の空間構成の特徴を捉え、防御用堡砦及び居住用城壁集落の建設に与える影響を明らかにしており、中国明代後期以降の堡砦建設及びその空間構成に関わる重要な知見を得たものとして、価値ある業績である。

よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。